

令和元年度 宮崎市総合防災訓練の概要

1 目的

東日本大震災や熊本地震において認知されたさまざまな課題等を踏まえ、地域住民の防災意識の更なる高揚を図るとともに、防災関係機関相互の連携強化を目指すことを目的とします。

2 訓練概要

南海トラフ巨大地震の発生により、宮崎市では最大震度7を観測。この地震に伴い、沿岸部には大津波警報が発表され、浸水被害や内陸部でも建物の倒壊など多くの被害が市内各所で発生したとの想定で訓練を実施します。

主な訓練としては、災害発生後の災害対策本部の設置訓練をはじめ、防災・医療関係機関による救急救助訓練、ライフライン復旧訓練、市受援計画に基づいた支援物資受入訓練、津波避難行動訓練、避難所運営訓練などを実施します。

また、訓練開始の合図として緊急速報メール(エリアメール)、市防災メール、防災行政無線などを使用し、市民に訓練開始を周知しシェイクアウト訓練への参加を促します。

・下線部は今回、初めて実施するもの

- ①災害対策本部の設置訓練：被害状況の把握をはじめ、関係機関への出動要請、災害対応に係る方針決定を行った後に、模擬の市長記者会見を行う。
- ②緊急速報メール：当日の朝9時30分過ぎに、市域全ての携帯電話に「【訓練】大津波警報」が発令された旨のメールを訓練配信する。
- ③シェイクアウト訓練：発災時、地震から身を守る行動「低くかがむ！頭を守る！動かない！」を取る。

3 日時

令和2年1月26日(日) 9時30分～13時(実働訓練は12時まで)

4 会場

メイン会場 大淀川市民緑地

サテライト会場 広瀬中学校、赤江中学校

5 参加機関

宮崎河川国道事務所、陸上自衛隊、航空自衛隊、県警察本部、日本赤十字宮崎支部、九州電力、西日本電信電話、宮崎交通、宮崎ガスなど60機関

6 備考

当日は炊き出し訓練によるカレーライスの試食や備蓄品の配布を行います(数量限定)。